

「オリ」や「カゴ」でも動物を飼育・繁殖させることはできませんが、それはペットか食物にしかありません。

自然に放して自立できる動物にはなれないのです。

人間は繁殖のために子供を作るものではありません。

いま、我が国での少子化対策はまさしく繁殖のための対策としか考えられません。なぜ、都会では私たちのいう家庭が作れないのでしょうか？

その答えは明白です。住まいが高価すぎるからです。

自然がないからです。行政は安全第一の公園を作って「これが自然だ」とごまかしています。

とてもじゃないが若い夫婦の財力では都会で家と庭がある家庭など手に入れることはできません。マンションでは子作りも2人までが限界です。一人っ子が多いのも特徴です。そして、祖父母4人のペットになっています。

マンションという「カゴ」、一戸建ての家も住まいだけ（有ってもガレージ）で、（庭＝自然）の無い家

しか手に入れることができません。それも、一生払わなければならないローン組んです。ローンが終わった頃には何の価値もなくなる。一生住宅ローンの支払いを気にした人生なんて何の意味があるのですか？と問いたい。

家を一軒持つただけにこの世に生を受けてきたような人がいるのを見るに付け、ほかに方法がないものか？と無い知恵を絞って考えました。そして、もっと良い方法があるという事に気がつきました。

先日、地方再生のために企業誘致をしても従業員が集まらないという記事がありました。当たり前です！地方には年寄りだけしか住んでいません。

都会の住人は、もう2、3世代に渡って街に住み着いて、帰る故郷を失った人ばかりです。都会で生まれ育った若い夫婦には、自分たちの世代からでも子供たちや年老いた両親が帰ることができる故郷を無理なく作る事を考えるべきではないでしょうか。